

実需者提携米栽培管理チェックリスト

多収品種の能力を引き出すための**9つのチェックポイント**

～土づくりと多肥施用、基本技術の励行が必要です！～

項目	チェック	No.	確認ポイント	次作への課題
移植時期と 栽植密度	<input type="checkbox"/>	1	【適期移植】 生育期間と登熟期間の確保のために適期（5月上旬）に植え付けましたか？	
	<input type="checkbox"/>	2	【栽植密度】 穂数確保のための十分な栽植密度（50～60株/坪）を確保しましたか？	
施肥および 水管理	<input type="checkbox"/>	3	【多肥栽培の実施】 地力を加味したうえで、十分な窒素量（目安10kg/10a）を施用しましたか？	
	<input type="checkbox"/>	4	【追肥の施用】 生育期間および登熟期間中の葉色が極端に落ちていませんか？	
	<input type="checkbox"/>	5	【中干しの実施】 中干しは田面に軽くヒビが入る程度に行い、過乾燥になっていませんか？	
刈取り時期	<input type="checkbox"/>	6	【適期刈取り】 登熟期間を十分に確保し、積算気温（1200～1300℃）、出穂後日数（出穂期確認）、黄化率（80～85%）を確認し、適期に刈取りが行われましたか？	
土づくり	<input type="checkbox"/>	7	【稲ワラの鋤き込み】 有機物の補給として「稲ワラ」の鋤き込みを刈取り後の年内に実施しましたか？	
	<input type="checkbox"/>	8	【根圏の拡大】 作土層の拡大を目指し、深さ15cmを目標とした耕うんを実施しましたか？	
	<input type="checkbox"/>	9	【土壌改良資材の施用】 土壌診断等を活用し、不足分の土壌改良資材（堆肥、ケイカル、けい酸加里等）を補充しましたか？	